

社協だより

ONAGAWA



8
AUGUST.2025

コミュニケーション麻雀の集い開催中！

「コミュニケーション麻雀をやってみたい！集える場を作ってほしい！」・・・という住民の方々の声を聞き、誰でも気軽に参加することができる**コミュニケーション麻雀の集い**を6月23日に女川町地域福祉センター多目的室を会場に開催しました。

当日は16名の方が集まり、男性陣も多く参加して頂けました。コミュニケーション麻雀と本格的な麻雀から選ぶことができ、昔よく麻雀をやっていたという方は本格的な麻雀へ。

あっという間に終了の時間となり物足りない様子で、「月1回ではなく2回くらいやろう。」という意見もあり、今後も定期的に開催することとなりました！

みなさんの声掛けによりどんどん参加者が増えています。いつでも参加可能です。ぜひ一度、足を運んでみてください。※詳細はP5の『いいものみっけ！』をご覧ください。



この広報誌の発行には、皆様から頂戴した会費と共同募金からの配分金を使わせていただいております。

令和6年度実施事業・決算報告

《事業報告の概要》

本会では、令和2年3月に策定した「第5次女川町地域福祉活動計画」（以下、第5次計画）に掲げた「地域の支え合いとつながりで 一人ひとりの幸せが実現するまち おながわ」を基本理念として、4つの基本目標の達成に向け、各事業を展開しました。

第5次計画の最終年度となる令和6年度は、人口減少と少子高齢化による地域社会の機能維持のほか、コロナ禍を経て社会的孤立や住民個々が抱える生活問題が顕在化・複雑化するなかで、各種事業を推進しながら地域の実態を把握し、第6次女川町地域福祉活動計画の策定に向け取り組みました。

《基本目標ごとの主な実施内容》

基本目標1 一人ひとりが自分らしく暮らせる地域

日常生活自立支援事業(まもりーぶ)及び成年後見制度における法人後見業務では、関係機関と連携した相談支援や身上に寄り添った自己実現支援を行いました。また、生活支援コーディネーターが中心となり、地域活動の情報収集と地域活動における関係者間の調整、一人ひとりに合わせた活動ができるような情報提供やサポートなどに取り組みました。



基本目標2 互いが支えあう地域

ボランティア講座の開催やボランティアセンターの周知・啓発を行うことで、新規ボランティア登録者の確保につなげました。また、住民主体による支え合い活動の活性化のために地区座談会を実施し、地域課題等について共有し、住民とともに考え、協働して課題の解消に向け取り組んできました。

基本目標3 誰もが安心して暮らせる地域

福祉の総合相談窓口として相談対応や訪問による実態把握を行うことで、早期の対応に努めてきました。また、本会が発行する広報紙「社協だより」やホームページによる情報発信、生活支援コーディネーター等を通じた直接的な働きかけを行い、相談しやすい環境づくりのための周知・啓発に取り組んできました。

生活困窮者への支援では、各種資金貸付制度やフードバンクを通じた支援のほか、関係機関と連携して相談者の自立に向けた支援を行いました。

さらに、災害に備えた防災講座を町内の学校で行うとともに行政区での防災講座を開催し、地域防災力のための住民の意識向上に努めました。

基本目標4 組織の基盤強化

法人の人材育成に関し、内部研修の実施による職員の共通理解と、外部機関が実施する研修への参加を通じて、必要な知識習得を行い、職員のスキルアップに取り組みました。

本会の経営基盤の強化については、継続的な会員への加入と併せて、新規企業会員の獲得を目指し取り組んできました。また、中長期の財務状況を明らかにすることで組織の現状把握を行い、今後の財源確保に向けた事業への取り組みについて検討を行ってきました。



その他の事業 ◇地域包括支援センターの受託運営 ◇地域活動支援センター「うみねこ園」の運営

一般会計決算のあらまし

収入合計 117,051,566 円

法人運営事業 48,940,826円

※会費や寄附金・補助金など

地域福祉活動推進事業 1,124,804円

※県社協補助金、共同募金配分金など

福祉サービス利用援助事業 6,040,506円

※県社協受託金、利用者負担金、生活安定資金貸付原資金など

地域包括支援センター事業 30,729,236円

※町からの受託金、介護保険事業収入

地域活動支援センター事業 18,196,136円

※障害福祉サービス等事業収入、町からの補助金など

日中一時支援事業 5,911,780円

※障害福祉サービス等事業収入、町からの補助金など

生活支援体制整備事業 6,108,278円

※町からの受託金

支出合計 113,396,426 円

法人運営事業 48,214,686円

※法人全体の運営にかかる費用

地域福祉活動推進事業 1,124,804円

※ボランティアセンター活動にかかる費用、各種事業実施にかかる費用

福祉サービス利用援助事業 3,111,506円

※貸付事業にかかる費用

地域包括支援センター事業 30,729,236円

※介護予防事業の推進や総合相談対応実施のためのセンター運営にかかる費用

地域活動支援センター事業 18,196,136円

※利用者への創作活動の提供や地域交流活動の実施、施設運営にかかる費用

日中一時支援事業 5,911,780円

※利用者への創作活動の提供や地域交流活動の実施、施設運営に係る費用

生活支援体制整備事業 6,108,278円

※地域において高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備等を目的に地域の諸団体、組織、住民への働きかけや協働にかかる費用

収入合計 117,051,566円 - 支出合計 113,396,426円 = **3,655,140円** (令和7年度へ繰越)

本会役員並びに評議員が新たに選任されました

(敬称略)

○理事 任期：令和7年6月24日から令和8年度会計に関する定時評議員会（R9年6月）が終結する時まで

会長 高橋 孝信 副会長 高橋 正典 副会長 阿部 求

理事 佐藤 良一 理事 土井 賢亮 理事 佐藤 千晶 理事 宮坂 千尋

理事 齋藤 俊 理事 阿部 豊 監事 遠藤 貢 監事 渡邊 智仁

○評議員 任期：令和7年6月20日～令和10年度会計に関する定時評議員会（R11年6月）が終結する時まで

三浦 秋司 三宅 仁子 阿部 喜子 三浦ひとみ 阿部 淑子 木村佳代子

佐竹 忠 東海 進 石森 孝之 相野谷裕明 木村 康行 阿部 正弘

櫻井 政徳 田中 寛史 柿崎 哲郎

本会役員並びに評議員の退任について

(敬称略)

今般、任期満了に伴う本会役員・評議員の改選が行われ、下記の方が退任されましたのでご報告いたします。

理事 勝又 菊枝 木村 稔

評議員 中嶋 憲治 木村 廣靖 鈴木 文夫 鈴木 浩 佐々木 司

本会の運営にご尽力賜り、誠にありがとうございました。

私たちの地域で活動する

福祉活動推進員をご存じですか？

本会では、身近な地域における住民の中で、見守りや声掛け・相談対応等をしながら、福祉の課題を早期発見する**地域のアンテナ役**となる福祉活動推進員78名を令和7年度に委嘱しました。(任期：令和9年3月31日まで)

福祉活動推進員は、各地区の行政区長の推薦により、本会の会長が委嘱しております。

各地区の福祉活動推進員は、区長や民生委員、社協などの関係者と連携しながら、地域の中で発見した課題を関係機関へ**つなぐ**など、多様化・複雑化している課題の解決に向けて共に取り組んでいただく地域のボランティアとして以下のような活動に取り組んでいます。

福祉活動推進員ってどんな活動をしているの？

- ・住民の見守り・声掛け
- ・お茶会等、地区の福祉活動への協力
- ・地域や住民の課題発見および関係者への情報提供
- ・住民の福祉意識を高める啓発活動など



新たに委嘱した福祉活動推進員の皆さんをご紹介します (敬称略)

行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名
大 沢	阿部 明子	旭が丘	石森すまえ	小 乗	岸 保子	女川南	梁取 礼子	宮ヶ崎	遠藤 重子
	木村まさ子		木村しま子		阿部 弘子		木村 節子		齋藤 豊子
	佐藤喜久子		木村 弘子		高 白		平塚 京子		木村かのえ
浦宿一	阿部 清子	上 一	相野谷裕子	横 浦	木村とも子	大原北	志賀 清子		赤坂はる子
	鈴木 節子		山口 直子		大石原 木村美栄子		阿部 尚子		川西千恵子
	小野寺いな子		村上恵美子		野々浜 石森すみえ		藤村ハルミ		木村 良子
浦宿二	伊藤 恭子	上 二	佐藤 静子	飯子浜	阿部たい子	大原北	鈴木 洋子	石 浜	遠藤よし子
	小山 栄子		相澤 好子		小屋取 黒須 春子		阿部 清子		佐々木祐子
	横江 明美	上 三	平塚美喜子	女川北	佐藤きよ子		佐藤 澄子		竹 浦 持田 美紀
浦宿三	遠藤優美子		遠藤美さ子		成澤 祥子	大原南	菅野テル子	尾 浦	鈴木 紀子
	鈴木 祐子		遠藤紀久子		大壁よし子		田中ちづ子		阿部 千博
	阿部とくこ	西	阿部 勝江	女川南	勝又 恵子		金山美恵子		出 島 加藤 裕子
針 浜	木村 純子		木村 幸子		木村佳代子	清 水	岩澤つま子	寺 間	植木美千子
	阿部 典子		鈴木かよ子		鈴木 憲子		勝又 延子		江 島 宮元 忠子
	遠藤富久子	小 乗	木村とも子		木村 妙子		菅野ミサ子		
旭が丘	中村 京子		木村あさゑ		阿部とも子		阿部 珠美		

生活支援コーディネーターの 「いいものみ～つけ！」 NO.38

令和7年度生活支援体制整備事業「第2層協議体」開催!! ～テーマ「福祉活動推進員について学ぼう！」～

令和7年5月15日（木）に支部長・福祉活動推進員合同会議を女川町まちなか交流館で開催しました。当日は、支部長と、4月より新しく委嘱された福祉活動推進員、併せて56名の方々に参加していただきました。

会議では、福祉活動推進員の活動やポイントなどを全体で改めて共有し、事例発表では、西区・女川南区・大原北区の活動について紹介していただきました。それぞれの地区によって活動内容も違っており、参考になったとの声もあがっていました。

また、本会からシルバー人材センターと救急医療情報キットについて、地域包括支援センターからは緊急通報システムの説明をし、地域で活用して頂けるような情報共有の場になりました。

今回の会議の終了後に実施したアンケートでは、地域で行ってみたいもののの中に救急医療情報キットの説明会や防災講座、出前講座を利用して交流につなげたいなどの意見もあり、今後、地域と連携しながら進めていきたいと思えます。



生活支援コーディネーターからのお知らせ

コミュニケーション麻雀の集い

日時 8月4日（月）・25日（月）
9月8日（月）・29日（月）
午後2：00～3：30

場所 女川町地域福祉センター 多目的室
※どなたでも参加できます！
お気軽にご参加ください。

地域ブームアップ

令和7年度体制整備事業 「第3層協議体」開催します！

テーマ「いつまでも安心して 暮らせる地域を
みんなで考えよう！」

6月は上二区と上三区、7月は浦宿二区と江島区で住民座談会を開催しました。

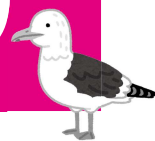
今後は9月に座談会を開催予定です。

地域で開催の場合は、ご協力をお願いいたします。





うみねこ園だより



黄色いレシートへのご協力ありがとうございます！

毎年多くの方にご協力いただいている**イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン！**

今回は、長年使用していた冷蔵庫の調子が悪くなってきた時期だったうえ、昨今は熱中症のリスクも高く、夏を乗り切るには必須ということで、冷蔵庫をいただきました。

多くの方のお気持ちにより寄贈いただいた品物、大事に使用させていただきます。

イオンスーパーセンター石巻東店様、そしてイエローレシートを投函していただいた地域の皆様、ありがとうございました。



イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンとは…

毎月11日のイオン・デーに、レジ周辺に設置された投函ボックスへ黄色いレシートを投函していただくと、合計金額のうち1%相当の品物が寄贈されるというものです。



うみねこ園に実習生さんがやってきた！

6月11日から宮城県立支援学校女川高等学園の1年生3名が、社会で働く人々と共に働く経験をとおして、社会に貢献する意義を理解し、今後の進路選択につなげることを目的として、うみねこ園の『職員』としての実習に10日間入りました。

3人には、レクリエーションの進行、連絡帳の作成、掃除など、普段うみねこ園の職員が従事している業務を体験してもらいました。当初は緊張からか声も小さく、あまり利用者さんに話しかけられませんでした。自信がつくにつれて声も大きくなり、スムーズにコミュニケーションをとることができていました。



さて、今回の実習で**いちばんの大仕事がお誕生会の企画**でした。事前の打ち合わせに実習生も参加すると、利用者さんのことを考えながら様々なアイデアを出し企画してくれました。利用者さんにメッセージを書いてもらうこと、実習生がマジックやダンス、歌を披露すること、その歌に合わせて花を渡すことなどなど。その甲斐もあり、お誕生会は大成功！中には感激して泣き出す利用者さんもいたほどでした。

最終日にはお別れ会を開催。実習生も利用者さんも泣き出すなど互いに別れを惜しむ様子。それだけ充実した実習期間を過ごせたということでしょうか。利用者さんにとっても、刺激的で楽しいものだったようで、様々な表情を見ることができました。**実習生のみなさん、お疲れ様でした！**



図書カードを寄贈いただきました

女川北区の酒井孝正さんより、**5,000円分の図書カード**をいただきました。酒井さんには、毎年図書カードをいただいております。今年も「うみねこ図書館」の充実のために使用させていただいております。ありがとうございました。



今回はどんな本にしようかな～？

**見積みり
依頼
無料!**

女川町シルバー人材センター活動中

会員登録・お仕事のご依頼おまちしています!

本年4月にスタートした**女川町シルバー人材センター**は、会員数16名
(令和7年6月末現在)で活動中です。

シルバー人材センターは、健康維持や社会参加を目指す高齢者に対し、臨時的かつ短期的な仕事を提供し、業務を通じて会員同士のつながりと生きがいのある生活を送ることを目的にしています。

会員登録し、ともに活動いただける方を募集していますので、皆さんの力を活かしていきましょう!

また、**シルバー人材センターでは、皆様から仕事の依頼をお受けしています。**草刈りや庭の草むしりや家の掃除、お墓掃除(6,000円~)、網戸の張替(90cm×90cm:1枚3,500円~)作業などがありましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

【問合せ先】女川町シルバー人材センター(女川町社会福祉協議会内) TEL0225-53-4333



第33回宮城県シニア美術展作品募集



県内に在住するシニア世代の文化活動として、創作による作品(日本画・洋画・書・写真・工芸)の募集・展示をとおして、ふれあいと生きがいづくりを促進することを目的に毎年開催されているものです。

ぜひ、この機会に皆さんの作品も出品してみませんか。

○テーマ:自由 ○応募資格:県内在住の60歳以上のアマチュアの方

○応募数:1部門1点(出展料1,000円)

【申込・問合せ先】

宮城県社会福祉協議会 いきがい推進センター TEL:022-223-1171 <http://www.miyagi-sfk.net/>

9月15日は老人の日「みんなで築こう 健康長寿と地域共生社会」

9月15日の老人の日から21日までの7日間を**老人週間**としています。老人の日・老人週間が目指す主な目標として、長年培ってきた知識や能力を活かした社会参加やボランティア活動の促進、高齢者の人権尊重、生きがいや健康づくり、介護予防などへの取り組み、また、減災や防災に対し関心をもち日頃から地域でのつながりを築くことなどが提唱されています。

すべての高齢者が安心して暮らせるまちづくりをみんなで目指していきましょう。



温かいご支援

ありがとうございます!

5月22日に大沢区阿部けさ子様から、ひと針ひと針丁寧に手縫いされた**雑巾110枚**を本会へ寄附いただきました。

本会の運営事業等において有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



女川町遺族会からのお知らせ

戦没者遺族で組織する女川町遺族会(遠藤進会長)では、毎年**戦没者追悼法要**を実施しており、今年は戦後80年の節目の年にあたることから、終戦記念日である**8月15日(金)**に女川町鷲神公園内慰霊碑前にて実施する運びとなりました。なお、詳細については、下記担当者までお問合せください。

【問合せ先】女川町遺族会 担当:酒井

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や
小中学校で行う福祉学習、ボランティアセン
ター事業や生活困窮者への支援などに充当
させていただいております。

今後とも、皆様のご理解をよろしくお願い
します。

よりよい地域をつくるための 社協会員の皆様



社協会員の皆様からいただく会費は、地域福祉の充実に
向けた事業を実施するための貴重な財源として大切に活用
させていただきます。

寄附金【5月1日～6月30日受付分】

(敬称略)

行政区	氏 名	金 額
女川南	木 村 節 子	28,361円
大原南	匿 名	15,000円
石巻市	国際ソロプチミスト 石巻サン・ファン	50,000円
松島町	本 村 正 明	100,000円

特別会員【5月10日～6月30日受付分】

(敬称略)

行政区	氏 名
浦宿一	(株) オ カ シ ョ ウ
//	(株) オ ナ ガ ワ
//	(株) 黄 金 バ ス
//	(株) 高 政
//	田 中 建 設 (株)
//	(株) ビ ホ 口
旭が丘	阿 部 淑 子
小 乗	宮城県開発(株)女川採石事業所
塚 浜	日立GEベルノバニュークリアエナジー(株)
//	前田建設工業(株)東北支店
女川南	女 川 ベ ン ダ ー サ ー ビ ス

行政区	氏 名
清 水	的 場 登 美 子
江 島	木 村 悦 雄
//	齋 藤 紘 一 郎
産 業	(株) 赤 間 商 会
//	女川町魚市場買受人協同組合
//	(株) 御 前 屋
//	(株) サ ワ ダ ヤ
//	(株) マ ル キ ン
//	(有) マ ル サ ン
石 巻	(株) 海 洋 建 設

賛助会員【5月10日～6月30日受付分】

(敬称略)

行政区	氏 名
上 一	中 村 傳 二
女川南	勝 又 恵 子
大原南	N e a r b y s t a d i u m
清 水	佐 竹 忠
石 浜	平 塚 洋 子

行政区	氏 名
塚 浜	(株) アトックス女川事業所
//	ウツエバルブサービス(株)
産 業	(株) 七 十 七 銀 行 女 川 支 店
//	(有) 本 の さ か い



【広報紙に関する問合せ先】 社会福祉法人女川町社会福祉協議会 TEL:0225-53-4333